

第52回 日韓経済人会議

THE 52nd. JAPAN – KOREA BUSINESS CONFERENCE

2020.11.27 TOKYO, JAPAN / SEOUL, KOREA

共同声明

「未来を切り拓く日韓協力 - 2020 SDGs 新時代 -」

第52回日韓経済人会議を2020年11月27日に日本国東京都にて、大韓民国ソウル特別市とオンライン接続して開催し、日本側からは佐々木幹夫団長以下109名、韓国側からは金鉦団長以下98名が参加した。

現在、日韓の経済界を取り巻く環境は、大変厳しいものとなっている。特に、新型コロナウイルス感染症が短期間で全世界に広がり、今もなお、多くの方々が感染に苦しんでいる状況を鑑みると、1日も早い回復を願わずにはいられない。先頭に立って奮闘されている両国の医療従事者の皆様には、心より感謝を申し上げる。

テーマに掲げたSDGsは、持続可能でよりよい世界を目指す国際的な開発目標であるが、「健康と福祉」では感染症対策をターゲットとして取り上げているほか、経済成長や産業、貧困、教育、レジリエンスなどを含んでいる。新型コロナへの影響に打ち克っていくこと自体がSDGsの取り組みでもある。

経済面への影響は、日韓両国にとって非常に大きいものとなってしまったが、そのような中にありつつも日韓の経済人は未来を見据え、新しい形での交流を始めている。今回の日韓経済人会議も、オンラインにて両国をつなぐ形で開催することができ、人材・文化交流においても、webによる新しい形での挑戦が続けられている。

両国経済人はこうした認識を共有し、「未来を切り拓く日韓協力 - 2020 SDGs 新時代 -」をテーマに、真摯に両国経済関係について討議した。その結果、相互発展と明るい未来のために、下記のような課題に関して連携して推進していくことに合意したので、共に宣言する。

記

1. 経済・人材・文化交流の重要性をしっかりと受け止め、継続と拡大にむけた取り組みを力強く推進する。
 - ・ 日韓の経済人は、今般のRCEP（地域的な包括的経済連携）の合意を、自由で幅広い貿易・投資の拡大や、日韓企業の第3国での協業など経済活動推進を支援するものとして歓迎する。
 - ・ また、SDGsの達成、少子高齢化・第4次産業革命・脱炭素社会・グローバルバリューチェーンなど共通する課題の解決に向け、強いパートナーシップのもと協力しあう。
 - ・ さらに、新たな挑戦や工夫によって青少年交流・地域間交流を活性化し、相互理解、相互信頼に基づく日韓友好のインフラとして揺るぎないものとしていく。
 - ・ 両国政府には、本来の政経分離の原則に基づく民間交流を一層進められるよう、今後とも力強いサポートを期待する。そのためにも、円滑なビジネス往来の再開が1日も早く実現できるよう、必要な諸施策の実施を強く願う。
2. 東京オリンピック・パラリンピックの安全かつ成功裡の開催に向けて協力を継続する。

なお、次回の第53回日韓経済人会議を、2021年に韓国において開催する。

2020年11月27日

日本側代表団団長 佐々木幹夫

韓国側代表団団長 金 鉦